

女性研究者のオンラインカフェ開催報告

女性研究者サポートオフィスの新たな活動として、分野を超えた女性研究者同士の交流、若手研究者や、研究職に関心のある学部生に向けたロールモデルの発信を目的に、女性研究者が自由に語り合うオンラインカフェを開催しました。

【日 時】令和3年3月8日(火)13:30-14:30

【場 所】オンライン(ZOOM)

【参加者】14名

【内 容】話題提供者として3名の先生を迎えて、研究力とは何か、研究を続けていく上での困難や、その乗り越え方を自由に語り合った。

【話題提供者】榎景子(人文社会科学域(教育学系))・昔宣希(総合生産科学域(環境科学系))・中村梨沙(熱帯医学研究所)

【開催内容】

今回、フリップトーク形式を採用した。事前にいくつかの質問を用意し、先生方に答えを書いたフリップを用意してもらいました。た、参加者にも申込の際に、先生方への質問を記入してもらいました。それへの答えも含めて、フリップを準備してもらいました。

オンラインカフェ当日は、一つひとつの質問に対して、それぞれが用意したフリップを、参加者に見せながら、その詳しい内容についてお話してもらいました。話題提供者の先生方に、研究者になった理由、研究者になってみて嬉しかったこと、研究者になってからの困難、困難の克服の仕方、今後の夢などについて、自由にお話をいただきました。

3人とも、今いる分野とは違う分野が研究のスタート地点でありましたが、自身の問題意識を深めたい、社会に貢献したいという思いをもって、より自らの専門性を高めていくために、新たな分野で挑戦していました。また、研究活動の継続においては、困難(論文の執筆や、ライブイベントとの両立など)の方が多いいけれども、研究活動を通して出会った様々な人たちの言葉のおかげで、自分の視野が広がったり、自分自身の考え方(何を完璧とするか、失敗や成功のとらえ方等)を転換させてみたり、時間の工夫などもしながら、研究活動を続けてこられていました。今後の夢として、昔先生は、人を育てていくこと・つながりつづけること、榎先生も、よりつながりを拡げ豊かにしていくこと、中村先生は、公私の両立を実現しながら後進のロールモデルとなっていきたい、とお話されました。

最後に、3人とも、今回の会の感想として、分野を超えたつながりができたことの喜びも感想として伝えてくださいました。

【今後の展望】

今回の会の意義として、まずは事前打合せもしながら、話題提供者の先生どうしが知り合う

ことができたことがとても重要だったと思います。この事前打合せでは、互いの研究内容や、どのような経緯で研究者になったのかを丁寧に聞き合うことができました。当日のフリックアップでは、他の先生方への話の深い共感があったり、他の人の話を聞くことで自分のこれまでの歩みや思いが振り返りながら、お話されていました。今回の会を通して、3人の先生が、単に「知り合った」のではなくて、研究者としての自分のあり方を一緒に考えていたと思います。このように、このオンラインカフェをきっかけにしながら、一緒に研究者としての力を育て合えるようなつながりを作っていけるようにしていきたいと思います。

また、参加者には、院生や学部生が半分ほどいて、若手にとっても参加しやすい会であったことも大事だと思います。また、学部生の感想からは、研究活動の続け方だけでなく、自分の生き方を考えることになった言葉が多くみられたことも、とても重要だと考えます。

今後は、参加者が、色々な形で参加できるような工夫をして継続していきたいです。

【参加者からの声】

- ・分野を超えた先生方のお話がざっくばらんに聞けて、とてもいい会だったと感じました。
 - ・それぞれの先生方の言葉は、まさにそのとおりで、しかも大変勉強になることも多かったです。特に乗り越えかた。
 - ・研究者になったきっかけや、やりがい、大変さなど、様々なことを聞くことができ面白かったです。特に、大変なことを乗り越える際に、周りの人の協力や、助言が参考になったとおっしゃっていて、周囲の人と良い関係を築くことが大切なのだなと感じました。また、私はかなり完璧主義な性格なので、そく先生がおっしゃっていた完璧を求めすぎないという言葉も大変心に残りました。
 - ・完璧でなくても小さな目標クリアしていくことの大切さや学会発表を論文執筆のための情報収集の場として利用することなど考え方や具体的な行動などとても勉強になりました。
 - ・自分が上手くできないことを上手くできている人をよく見るという言葉が最も印象深かったです。今回先生方がお話ししてくださったことは、研究以外の学生生活、学業、生き方などにも通じるものがあると感じました。
 - ・とても心が穏やかになる会でした。3人の先生方が純粹の研究を楽しんでいる事はとてもすてきであると思いました。けれど、挫折や苦しいことがなかったわけではなくていろいろな人から助けをもらいながら、研究を続けてこられていたことが自分もいろいろな人を頼って行って良いんだと思えました。そして、ソク先生がおっしゃっておられた「小さい成功を続けること」はとても心に残りました。どうしても完璧にしなければと思うので、完璧でなくても少しずつしていくことをこれから自分に言い聞かせていこうと思いました。
- 最後に、この会で先生方が違う分野の研究者とつながれて、お話しできたことが良かったという感想を聞いて、この会が女性たちをつなげているなということをとっても感じました。いろいろな研究者さんで違う研究かもしれないけれど、社会を良くしていくという命題は同じである人たちが集まって話していることがすごく大きいことであると感じました。また、次回を期待して

います●

・本日はこのような会のご準備をいただきありがとうございます。率直に、学部生にも広く参加の広報を行えば良かったとお思いました。今日のお話は夢があり、進学したい、研究者になりたいと思う学生が増えるのではないかと思いました。今回、先生方のお話を伺う中で、多くの苦悩がありそれをどう乗り越えられてきたのか、ネットワークの作り方や、参加者に向けてのアドバイスなどとても有益な会でした。今、研究者として 1 人前になるために博士課程に在籍しておりますが、9 割といいですか、それ以上に辛いと感じていたところでしたので、1 割は楽しいといった気持ちをもつことや、完璧主義者でなく何度も斧を振り失敗を交えながら先に進む心の持ち方、公私のバランスも考えて、コツコツを準備を積み、自分が明らかにしたいと思う研究をすすめていきたいと思いました。本当にありがとうございました。